

この度は、タカラトミー「ドリフトパッケージ ナノ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書(本書)をよくお読みください。読み終わった後は、必ず保管しておいてください。



警告 (けいこく)

保証書の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。●この製品は電池を使用しておりますので下記に注意してください。航空機、病院など精密機械のあるところ、遊園地、自動車内等では使用しないでください。電波が電子機器や医療用電子機器、心臓ペースメーカー等に影響を及ぼし、誤作動による事故の危険があります。心臓ペースメーカーを装着されている場合は、装着部から22cm以上離して使用してください。本製品は日本国内でのみ使用してください。

注意 (ちゅうい)

●安全のため、電池取換時以外の分解、改造、ご自身の修理は絶対に行わないでください。●内蔵された充電式電池を使用すると発熱、破裂、発火、液もれの危険があります。下記に注意してください。ショートさせると大電流が流れ、危険です。絶対にさけてください。充電満みの本体への再充電は、絶対に行わないでください。過充電になり危険です。水にぬれたらすぐに使用をやめてください。ショートの原因になります。水や火の中に入れて、分解、ハンダ付けは絶対に行わないでください。火の近く、高温、多湿の場所での使用、充電、保管はしないでください。廃棄するときは、自治体の廃棄物の処理の指示に従ってください。●乾電池を使用すると発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。二次電池は、絶対に使用しないでください。古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使わないでください。+(-プラス・マイナス)を正しくセットしてください。遊んだあとは必ず電源を切り、電池をはずしてください。ショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れてはならないでください。一方、電池から漏れた液が自に入ったときは、すぐに大量の水で洗い顔面に相談してください。皮膚や顔についたときは水で洗ってください。廃棄するときは、自治体の廃棄物の処理の指示に従ってください。●回転するタイヤに、指や髪の毛、衣服などをさわれないように注意してください。●ぶついたり、ふりまわるとぶついたり壊れることがあります。●可動部には指などを入れないでください。はさまれたケガをする恐れがあります。●操作する時はコントローラーや本体が自分や周囲の人や物などに当たらないように注意してください。●思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手が届かないところに保管してください。

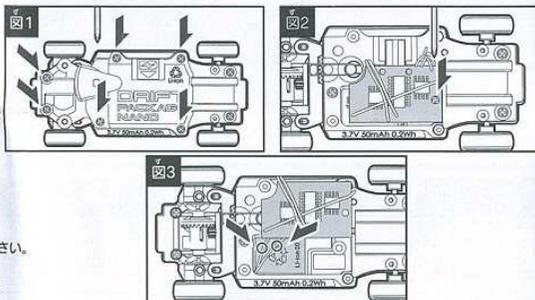
(お読み)○ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は、必ず保管しておいてください。○部パーツは無理に力を入れて引っ張ったりしないでください。○タイヤをロックさせた状態で動かさないでください。モーターに負荷がかかり発熱や故障の原因となります。○ぶついたり、おとしたりしないでください。○直射日光の当たる所、電線等の近くなど温度の高すぎる所、湿気する所には置かないでください。○充電中は衝撃を与えないでください。○コネクタが使用できない場合があります。○充電が完了したら、本体をコントローラーから取り外してください。○電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など、データ通信に支障が出る場合は、その場所から離れるか、電波干渉とみなされる機器の使用を中止してください。○本製品は屋内専用です。屋外で動かすと、ゴミなどにより故障する恐れがあります。○じゅうたん、カーペットの上では遊ばないでください。毛足が絡まり、故障する恐れがあります。

使用済みリチウムイオン電池の廃棄方法

電池を取り出すと使用できなくなります。 ※電池のみの交換はできません。

電池は使い終わった状態で取り出してください。リチウムイオン電池を取り出す前にシャーシの電源スイッチを(OFF)にし、タイヤが動かないことを確認してから、電池を取り出してください。

- ①電源スイッチを(OFF)にしてください。
- ②図1の矢印の箇所を精密ドライバーで外します。
- ③図2の矢印のネジを1ヶ所外します。
- ④裏板を本体から取り外すとリチウムイオン電池が露出します。
- ⑤図3の矢印で示したリチウムイオン電池の配線を1本ずつ切断します。
絶対に2本一緒に切断しないでください(ショート防止の為)。
- ⑥ショート防止の為、電池パックから出ているコードの先端を個々にテープなどで覆ってください。
取り出した電池パックは、充電式電池リサイクル店にお持ちください。
※廃棄する時以外は、絶対分解しないでください。部品が使用しやすくなる場合があります。
※電池パックは、表面のフィルムをはがしたり、分解は絶対に行わないでください。



【周波数について】本機は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してください。
【本機の使用上の注意】本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体個別屋内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が利用されています。1.本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。2.万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

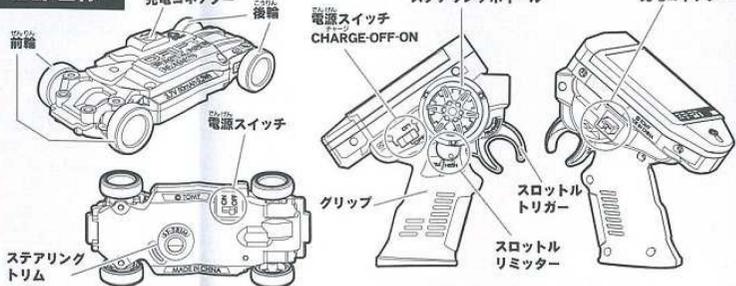


©TOMY 単3形アルカリ乾電池4本使用(電池は別売です)(コントローラー用)
REQUIRES 4 LR6 ("AA" SIZE) BATTERIES (NOT INCLUDED)

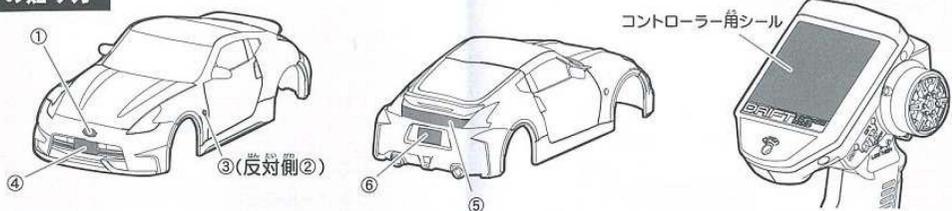
セット内容



各部名称

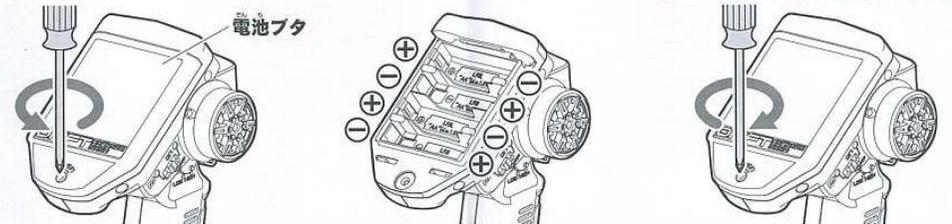


シールの貼り方



1 電池の入れ方 (コントローラー)

- ①コントローラーの電源スイッチをOFFにして、電池ボタのネジをプラスドライバーでゆるめ電池ボタを取り外します。
- ②単3アルカリ乾電池4本を+を間違えないように正しく入れて下さい。
- ③電池ボタを元に戻し、ネジを図のようにしめます。
※電池を交換するときは、すべて新しい電池と交換してください。



2 充電の仕方

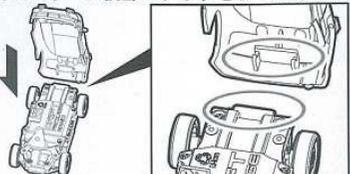
※約20分の充電で約15分走行出来ます。

- ①ボディをシャーシから外して、シャーシ裏側の電源スイッチをOFFにします。
- ②コントローラーの電源スイッチをOFFにします。
- ③コントローラーの充電コネクタにシャーシの充電コネクタを図のように差し込み、コントローラーの電源スイッチを「CHARGE」にします。
※充電中は赤と緑のランプが点灯します。
- ④コントローラーの緑のランプが消え、赤ランプのみ点灯したら、充電完了です。
※充電が完了したらコントローラーの電源スイッチをOFFにしてください。
※注意：手順通りにしないと正しく充電されない場合があります。
※充電コネクタの抜き差しの際にシャーシを持つ時は、タイヤを引っぱらないでください。

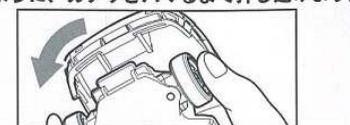


3 ボディの取り付け方

- ①図のようにボディのリア側にあるフックの溝にシャーシ後部のフックをひっかけます。



- ②前部も同様にボディにシャーシを押し込むように、カチッとハマるまで押し込みます。



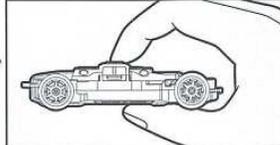
※ボディを取り外す場合は、上記の逆の工程で取り外してください。

4 ベアリングの仕方

※同時に最大10台までベアリングできます。

ベアリング シャーシに自分のコントローラーを記憶させるための作業です。自動的に使用するバンドが決定されます。

- ①シャーシの電源スイッチをONにする前に後輪が動き出しても大丈夫のように、図のようにシャーシを手で持ってください。
※ボディを付けた状態でも同様です。
- ②シャーシとコントローラーの電源スイッチをOFFにします。
- ③シャーシ裏側の電源スイッチをONにします。
- ④スロットルトリガーを動かさず(ニュートラル)コントローラーの電源スイッチをONにします。
- ⑤約3秒ほどでベアリングは完了します。ステアリングホイールを回して、シャーシの前輪が動けばベアリング成功です。
※複数人でベアリングをする場合は、1台ずつ順番にベアリングしてください。混雑する場合があります。
※ベアリング出来ない場合は①からやりなおしてください。



5 操縦の仕方

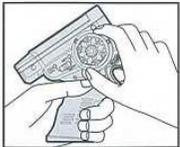
■スロットルの操作

スロットルトリガーを引くと、引く量に合わせた速さで前進(デジタルプロポーション方式)、押すと約0.5秒間ブレーキがかかった後、前進の約1/2のスピードで後進します。



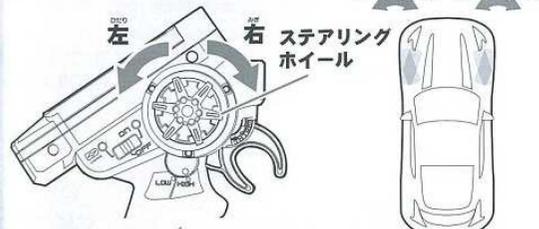
■コントローラーの持ち方

右図のように左手でコントローラーを持ち、人差し指をスロットルトリガーに引っかけます。右手でステアリングホイールを操作します。



■ステアリングの操作

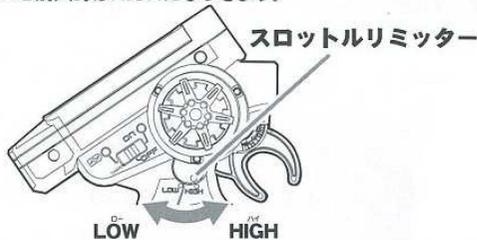
ステアリングホイールを左に回すと前輪が左に、右に回すと右に曲がります。



6 調整の仕方

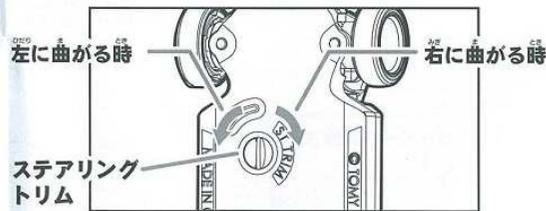
■スピードの調整

車体の速度が速すぎると感じた時は、スロットルリミッターをLOWにすると、スロットルトリガーに制限がかかりスピードが遅くなります。HIGHにするとフルスピードで走ることができます。
※ご購入時はHIGHになっています。



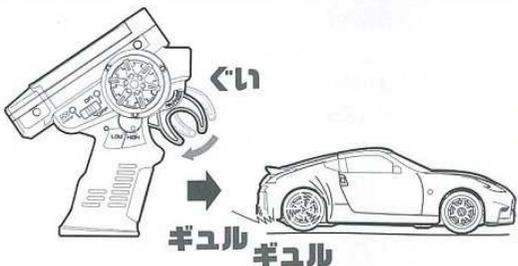
■ステアリングトリムの調整

車体がどちらかに曲がってしまう時は、シャーシ裏側のステアリングトリムで調整します。車体が右に曲がる時は右に、左に曲がる時は左にレバーを動かします。



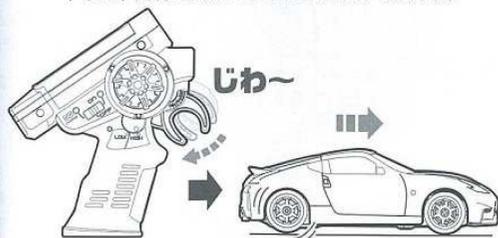
7 操作のコツ

スロットルの操作はデジタルプロポーション方式です。いきなりスロットルを100% (スロットルレバーを最後まで引く) にするとホイールスピン (リアタイヤが空転) してまっすぐに走行することができない事があります。



ホイールスピンしてしまう時はスロットルの操作をいきなり全開にせず、ゆっくりなスピードで少し走ってからスピードを徐々に上げてください。

※ゆっくり走っている状態でステアリングを切るとドリフト走行ではなくグリップ走行が可能です。



※走行する路面の状態によって操作の仕方は変わります。

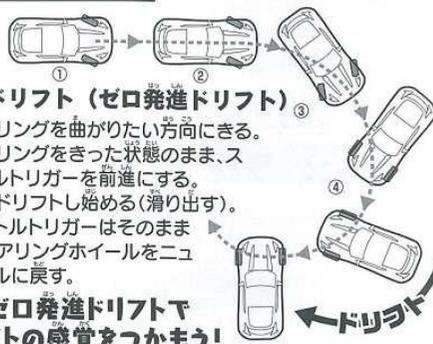
ドリフトしてみよう!

※床面の状態によってはドリフト走行が出来ない場合があります。

■簡単ドリフト (ゼロ発進ドリフト)

- ①ステアリングを曲がりたい方向にきる。
- ②ステアリングをきった状態のまま、スロットルトリガーを前進にする。
- ③車体がドリフトし始める(滑り出す)。
- ④スロットルトリガーはそのままでステアリングホイールをニュートラルに戻す。

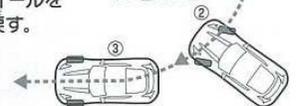
このゼロ発進ドリフトでドリフトの感覚をつかもう!



■カウンターステア

- ①ゼロ発進ドリフトでスタート。
- ②ステアリングを逆にきって、進行方向を切り変える。
- ③ステアリングホイールをニュートラルに戻す。

カウンター

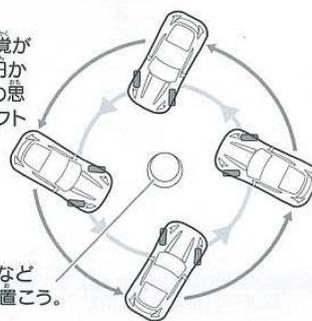


ドリフト練習法

左右どちらの方向でも完璧なドリフトが出来るように練習しよう!

■定常円ドリフト

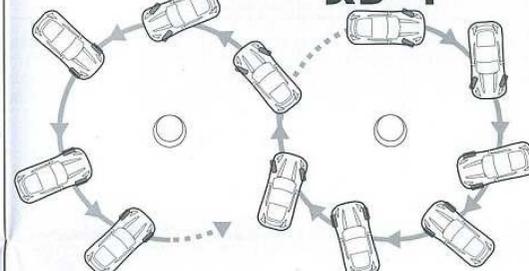
ドリフトの基本的な感覚が身に付きます。小さな円から大きな円まで、自分の思うようなサイズでドリフトできれば完璧だ!



■8の字ドリフト

ドリフト走行の王道的な練習方法です。基本的な定常円ドリフトを2個つけた形で繰り返しの練習になります。

スタート



トラブルシューティング

症状	原因	対策
走行しない (動かない)	コントローラー、乾電池の容量が少ない、または、乾電池が入っていない。	新しいアルカリ乾電池を取扱説明書(本書)の①を参考にに入れてください。古い電池では十分に機能しないことがあります。
	シャーシが充電されていない。	取扱説明書(本書)の②を参考に充電してください。シャーシを充電しないと動作しません。
	シャーシとコントローラーがペアリングされていない。	取扱説明書(本書)の③を参考にペアリングを行ってください。ペアリングしていないと動作が出来ません。
うまく操作できない	電波が届いていない。	送信距離は条件によって変わります。少し車体に近づいてください。
	電源スイッチの入れ忘れ。	コントローラー、シャーシには電源スイッチがあります。取扱説明書(本書)を参考に電源スイッチを入れてください。
	タイヤやシャフトにゴミが付着している。	タイヤやシャフトにゴミが付着していると、スムーズな回転、ステアリングができません。丁寧にホコリを取ってください。
勝手に動く 勝手に止まる	ステアリングトリムがずれている。	ステアリングトリムを適正な位置に調整してください。
	じゅうたんなどの上で走行させている。	じゅうたん、カーペットの上では走行させないでください。毛足がからまり故障することがあります。
	ペアリングが出来ていない。	取扱説明書(本書)の③を参考にペアリングを行ってください。
	スロットルトリガーを動かした状態でコントローラーの電源をONにしている。	取扱説明書(本書)の④を参考に再度ペアリングを行ってください。
	他の電波の影響を受けている。	場所を変えて試してください。
	シャーシの充電が不十分。	取扱説明書(本書)の②を参考に充電を行ってください。シャーシの充電電池に満充電すると、約15分走行可能です。※走行する場所により異なります。
勝手に動く 勝手に止まる	モーターロックで前駆回路が作動する。	本商品はモーターロックするなどして内部の基板に大電流が流れると自動的に動きを止める保護回路がついています。大電流が流れてしまう要素を排除してシャーシの電源スイッチを入れなおしてください。
	約10秒間同じ動作を続けている。	安全のために同じ動作を約10秒間続けるとコントローラーが送信信号を停止します。違った動作を行うと動きます。

【二次電池の寿命について】本商品にはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池は充電を繰り返すと徐々に劣化し、稼働時間が短くなっていきます。これはリチウムイオン電池の特徴であり、不良や故障ではありませんので、完全に動作できなくなるまで継続してお楽しみいただけます。